

市民大学
東京大学
EMP特別講座

化石の記録から解き明かす 人類の進化と現在

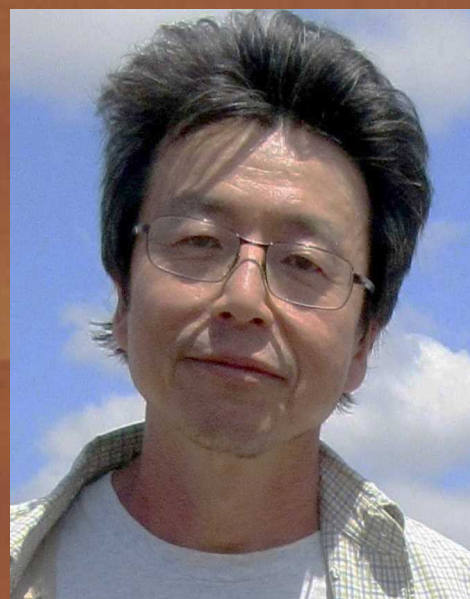
人類はどうしてヒトになったのか。ヒトやチンパンジーを含めて、共通の祖先から進化したとされています。独自の進化を遂げた人について研究により、徐々に明らかになったことを紹介します。

日時 令和6年1月17日(水)
午後1時から午後3時(開場正午)

会場 取手ウェルネスプラザ
多目的ホール

定員 400名(抽選)
締切:令和5年12月22日(金)まで

受講
無料



講師：諏訪元氏
東京大学特別教授
総合研究博物館特任教授

内容 ヒトは類人猿から分岐し、ゴリラ、チンパンジーと独自の進化を遂げた。進化の初期から協力行動が特徴的で、社会性が強化され、動物資源を多く取り入れる生存様式が生じ、ホモ属へ進化した。ホモ属では道具使用行動と脳の増大が進み、現在のホモ・サピエンスに至る。この進化史を概観し、ヒトの特徴を改めて認識し、現在を考えたい。

<プロフィール>

東京大学理学系研究科博士課程修了、カリフォルニア大学バークレー校PhD、東京大学総合研究博物館教授・館長などを経て、現職。1980年代以来、主としてエチオピアをフィールドとし、初期人類化石の研究に従事、ラミダス猿人はじめ各進化段階の人類化石やアシュール型石器などの研究に携わってきた。分担執筆として『シリーズ進化学5、ヒトの進化』(岩波書店)、『アフリカの骨、縄文の骨—遙かラミダスを望む』(東京大学総合研究博物館)、『アシュール石器文化の草創』(東京大学出版会)など

申込 往復はがき往信面に講座名、代表者を含む5人までの氏名、代表者の住所、電話番号、返信面にご自身の宛先を明記し、〒300-1592 取手市藤代700番地 生涯学習課 市民大学東京大学EMP特別講座「化石の記録から解き明かす人類の進化と現在」係宛てに郵送か、専用申込フォームからお申し付けください。



専用申込
フォーム↑

問い合わせ先 取手市教育委員会生涯学習課 TEL: 0297-74-2141